

愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

研究に対するご協力をお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った検査で保管されているデータを使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報や保管されているデータを利用してほしくない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など研究の対象から削除できない場合もありますのでご了承ください。

※試料・情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	緑内障手術の術前術後における角膜内皮細胞変化の検討
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 (試料・情報の提供元の管理責任者)
研究責任者 (個人情報管理者)	(診療科名) (職名) (氏名) 眼科学 助教 竹澤 由起
研究期間	研究機関の長の許可日 ~ 2031年 4月 30日
対象となる方	2025年4月から2029年3月に愛媛大学医学部附属病院を受診された方のうち緑内障と診断され緑内障手術を受けた患者さん
利用する試料・情報等	(利用するカルテ情報) 性別、年齢、発症時期、合併症、既往歴、身体所見、画像検査データ、治療状況 等
研究の概要 (目的・方法)	緑内障手術後では、角膜内皮細胞密度が減少しやすい場合があり、その詳しい機序や原因については明らかになっていません。本研究では、緑内障術後における角膜内皮細胞の変化を詳細に解析し、手術前後での点眼や眼内の状態などとの関連について明らかにすることを目的としています。本研究では、診療の中で得られた検査データや所見、治療内容などの情報を用いて解析を行います。
個人情報の保護 について	この研究で収集される試料・情報等は氏名、住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を削除して誰のものかわからないようにした上で利用いたします。患者さんを特定するための情報(対応表)は、院内で個人情報管理者が厳重に保管し外部への提供は行いません。また、保管される試料・情報等を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定です

愛媛大学医学部附属病院単施設用

情報公開文書 作成日：2026年4月22日 第1版

	が、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。
お問い合わせ先	愛媛大学医学部附属病院眼科 竹澤 由起 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089-960-5361